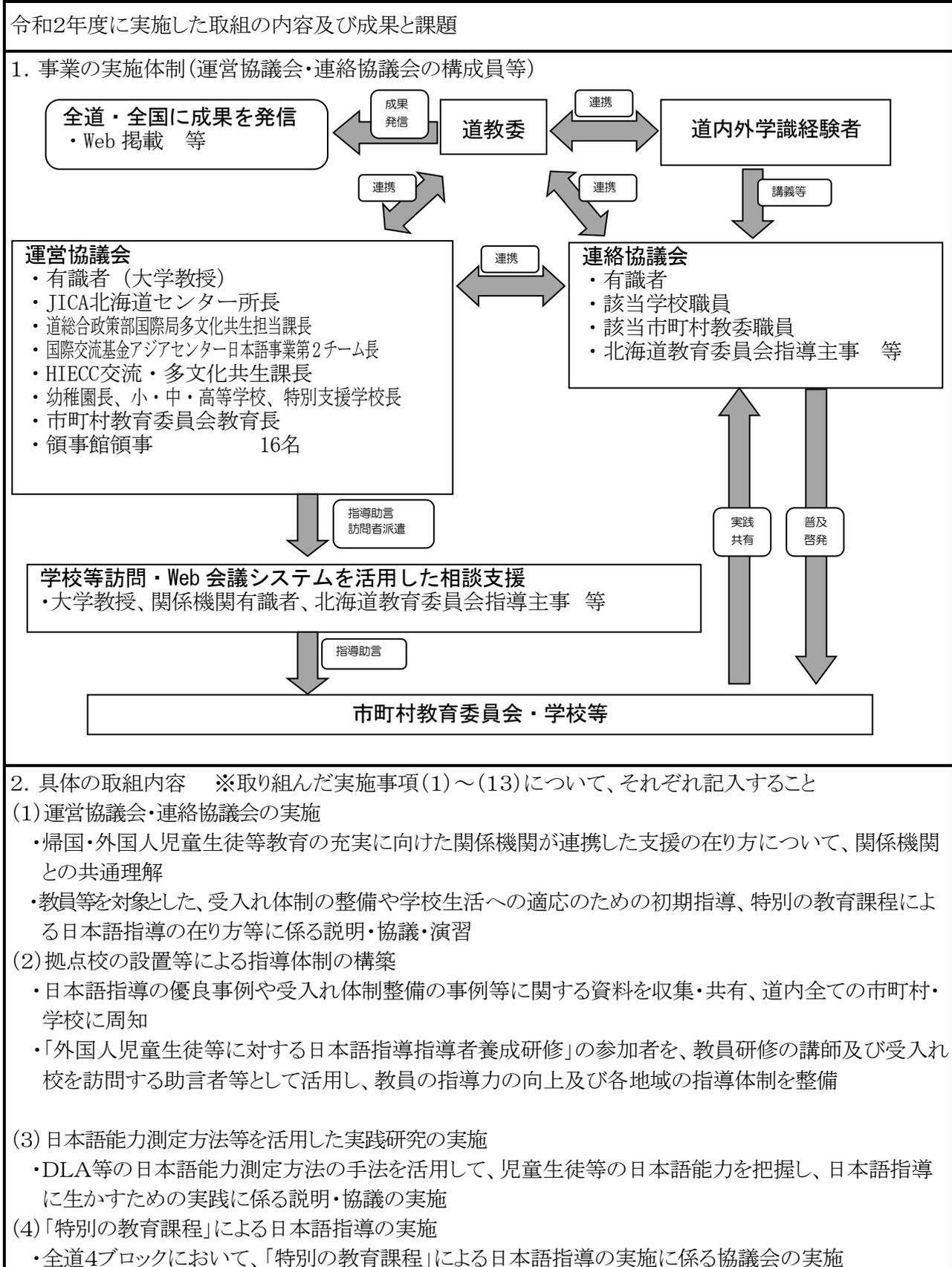


令和2年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業  
 (I 帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業)

事業内容報告書の概要



(5) 学力保障・進路指導

- ・8～2月に、小・中・高等学校15校に対し、日本語指導を専門とする大学教員等によるJSLカリキュラムの実施及び進学・キャリア支援に係る相談支援の実施

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- ・8～2月に、小・中・高等学校15校に対し、日本語指導を専門とする大学教員による「特別の教育課程」の編成・実施等に係る学校訪問、相談支援の実施

(8) 共生社会における共に学び成長する授業の在り方に関する調査研究の実施

- ・日常的な児童生徒同士の触れ合いによる異文化理解の深まりなど、児童生徒が多様な価値観を受容しながら共に学ぶ授業の在り方について事例を収集し、周知

(10) ICTを活用した教育・支援

- ・多言語翻訳アプリ等のICTを活用して児童生徒等や保護者に対する支援を行う取組について事例を収集し、指導資料としてまとめ、市町村教育委員会及び学校等に配付

(11) 高校生等に対する包括的な教育・支援

- ・8月、9月に、高等学校3校に対し、高等学校における日本語指導・教科指導及び進学・キャリア支援に係る相談支援の実施

(12) 成果の普及

- ・散在地域における先進事例やICTを活用した初期指導事例を掲載した指導資料「外国人児童生徒等の日本語能力に応じた初期指導マニュアル」を作成し、市町村教育委員会及び学校等に配付
- ・運営協議会の概要や指導資料など、道教委Webページへの事業に係る取組及び成果の公表

3. 成果と課題 ※取り組んだ実施事項(1)～(13)について、それぞれ記入すること

(1) 運営協議会・連絡協議会の実施

- ・成果: 関係機関との連携促進、市町村及び学校の受入れ体制の整備、日本語指導の指導力の向上
- ・課題: 受入れ地域の散在化や、地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

(2) 拠点校の設置等による指導体制の構築

- ・成果: 事例等の周知や、指導者養成研修の参加者による講師及び助言者等の活用による日本語指導の指導力の向上、市町村教育委員会及び受入れ校における指導体制の整備
- ・課題: 受入れ地域の散在化や、地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

(3) 日本語能力測定方法等を活用した実践研究の実施

- ・成果: DLA等の日本語能力測定方法等の活用についての理解の促進
- ・課題: DLA等の日本語能力測定方法等を活用した適切な日本語能力の把握に基づく日本語指導の実施

(4) 「特別の教育課程」による日本語指導の実施

- ・成果: 『特別の教育課程』の編成方法や、受入れ体制の整備の仕方についての理解の促進
- ・課題: 受入れ地域の散在化や、地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

(5) 学力保障・進路指導

- ・成果: 在籍学級におけるJSLカリキュラムの実施による学習参加の促進、卒業後の進路を見据えた進路指導の充実
- ・課題: 保護者や当該児童生徒と将来の見通しや目標について共通理解を図った上での必要な進学・キャリア支援の実施

(6) 日本語指導ができる、又は児童生徒等の母語が分かる支援員の派遣

- ・成果: 支援体制の整備や「特別の教育課程」の編成・実施、個別の指導計画に基づいた指導・改善についての理解の促進
- ・課題: 受入れ地域の散在化や、地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

(8) 共生社会における共に学び成長する授業の在り方に関する調査研究の実施

- ・成果: 全ての児童生徒が多様な価値観を受け止めながら学ぶなど、異文化理解の促進
- ・課題: 全ての児童生徒が多様な価値観を受容しながら共に学ぶ授業づくりの推進

(10) ICTを活用した教育・支援

- ・成果: 教育委員会及び学校の受入れ体制の整備、ICTの効果的な活用による日本語指導の充実

・課題:受入れ地域の散在化や、地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

(11) 高校生等に対する包括的な教育・支援

・成果:「特別の教育課程」による個に応じた指導の充実、在籍学級におけるJSLカリキュラムの実施による学習参加の促進、卒業後の進路を見据えた進路指導の充実

・課題:保護者や当該児童生徒と将来の見通しや目標について共通理解に基づく進学・キャリア支援の実施

(12) 成果の普及

・成果:受入れ体制の整備に関する事例やICTを活用した初期指導に関する事例を含めた指導資料の作成・配付により、市町村教育委員会及び学校の体制整備の促進

・課題:地域や学校における実態やニーズの多様化への対応

日本語指導が必要な児童生徒のうち、特別の教育課程で指導を受けた児童生徒の割合	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	特別支援学校
	33.3%	25.8%	—	—	—	100%
うち、個別の指導計画の指導目標が達成できた児童生徒の割合	33.3%	25.8%	—	—	—	100%

4. その他(今後の取組予定等)

・全ての校種における円滑な受入れに向け、Web会議システムを活用した相談支援の充実、道内外の先進事例の把握、周知

・地域や学校における実態やニーズの多様化への対応に向け、連絡協議会の工夫改善、ICTの効果的な活用

※枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない) 成果物等があれば別途提出すること。